

人と人とのつながりが大切

輝くけんせつ
Woman

中電技術コンサルタント(株)
事業企画部 兼 河川砂防部
グループリーダー(課長)

桑田 志保さん

モットーは“何事も前向きに楽しむこと”。趣味はカーブ観戦と読書。技術士(建設部門)。広島県広島市出身

「建設コンサルタントを進める上での潤滑油とは、実際に現場でモノをつくるわけではなく、知恵を納めることにつながる」で勝負する業種。人が人と人とつながる。入社は15年目、現在は

事業企画部と河川砂防部を兼任。事業企画部では、長期的な技術戦略の検討や新人社員研修の企画、

「技術的な切磋琢磨を」担当し、社員が仕事を進めた上で、技術的なサポートをしている。「最も大切なことは、それが仕事近ではドローンのパイロ

ット訓練制度なども策定した」という。また、河川砂防部では、一昨年の8月20日に起きた広島土砂災害の現地調査や、その後の調査計画などを担当。「今、何でも塵になりつつある」と笑みを浮かべる。

女性ならではの苦労に關しては「現地調査で力仕事」と回答。一方、メリットは「女性ということで、お客様にすぐ名前を覚えてもらえる。地元住民への説明では、男性よりも女性の方が受け入れてもらえやすい」とほほは笑む。

今までは携わった仕事では、一級河川の河川整備計画の原案策定が特に思い深い。「しんどい思いをした分、策定に至ったときは、非常にうれしかった」と当時をしみじみ懐かしむ。

広島大学大学院生物圏科学研究科自然環境科学専攻を修了。大学で土石流の発生メカニズムを研究していた頃、平成11年6月29日に広島豊前災害が発生した。土砂災害危険箇所が全国で最も多い地元・広島で最も多い災害に貢献できれば、という強い思いで今の会社を選んだ。「地元の防災リーダーとなる人材が圧倒的に不足している」と指摘し、将来的には「地元の自治会で防災に携わりたい」とも。

仕事の魅力については「日々の苦労はあるが、達成感がある」と言い切る。その根底にあるのは「社会基盤を支えている」という誇りを持ち続けているというからだ。

今の会社を「育児退職者再雇用制度を含め、女性の活躍を支援する各種支援制度が充実している良い会社」と評する。各種制度を周知させながらさらに女性が働きやすい良い会社を「いい会社」と意欲を言っている。